

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和 5 年 1 月 30 日

公表: 令和 5 年 2 月 20 日

事業所名: 日の出こども園

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		利用者人数に合わせたスペースが確保できています。学習室を設け、動と静の動きに合わせて空間利用しています。
	2	職員の配置数は適切である		○	職員人数が十分でない。1日の利用定員数を、その日の職員配置数で安全に支援ができる人数に調整しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		それぞれの特性を配慮し環境を整えています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		目標を持った支援と支援後は職員で内容等の振り返りや改善点の話し合いの時間を設けています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		年に一度、保護者向け評価表を用いてアンケート調査を実施し、保護者からの情報や意見を得て、事業所の活性化と安全に繋いでいます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		自己評価の結果を利用者へ配布しています。また、事業所ホームページでも公開しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	第三者からの評価は実施できていません。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		コロナウイルスまん延の影響もある為、特にズーム研修を活用して職員の質の向上に取り組んでいます。今後、感染のリスクが低くなったら会場へ出向き、他事業所の方との交流も深めたいと考えています。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		契約時と年度初めに簡単なアセスメントをとっています。また、モニタリング時に相談・助言等を行い情報共有と共通理解を深めています。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		契約前にアセスメントをとり、子どもの状況や様子に変化があった時は保護者・指導員から聞き取りをして連携がとれるようにしています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		毎月、職員で打ち合わせをして案を出しています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		季節の行事や子どもの必要な活動、楽しめる活動を考えています。※現在はコロナで難しいものもあります。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		休日は買い物体験や野外活動、お楽しみ会など実施し、将来に向けて身に付けたい社会性のスキル向上や友だちとの時間を楽しみコミュニケーション能力の向上を目指して、平日の支援で学んだ内容を実践できる場を設けるよう工夫しています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		モニタリングや電話、ライン、その他面談、送迎時に受けた相談や課題を踏まえて、個別活動や集団活動を組み合わせた計画を作成しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		支援中の出来事、それに対する支援方法、その結果等を振り返り、支援の質を見直し日々の支援に繋げています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		支援終了後にはその日の出来事を振り返り、子どもの変化や様子について話し合いをしています。また、今後の改善方法を考え実践できるように情報を共有しています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		子どもの様子や変化、対応方法を記録しています。スタッフで情報共有と共通認識をし、今後の支援方法を決めています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		最低6か月に1度のモニタリングを実施し子どもの現状や今後の支援等、保護者と共有し統一した支援ができるように話し合っています。

関係機関や保護者との連携	19	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○	子どもの状況、保護者の相談を受けている者が、相談事業所の担当者や子どもの状況や保護者の悩み等、定期的に話し合い連携をとっています。
	20	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○	年度初めに事業所の内容や活動、スタッフの紹介をして情報共有をしています。送迎時のトラブルや対応は電話で相談できるように体制を整えています。
	21	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○	現在、医療的ケアが必要な子どもはいませんが、受け入れる場合には連絡体制を作り安心して通所できるように整備していきます。
	22	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○	必要に応じて、電話等で情報共有と相互理解の話し合いをしています。
	23	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○	今年度対象となる利用者はありませんでしたが、移行する場合には連絡体制を作り、変わらぬ支援が受けられるようそれまでの支援内容や特性等情報を提供していきます。
	24	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○	担当の専門機関の先生と連携をとり助言やアドバイス等を受けています。
	25	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○	公園や社会参加で遊びを共有する時間はありますが、事業所の活動内容としては取り入れていません。
	26	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○	ズームでの研修会に参加しています。情報交換できるまでの関りがまだまだ十分ではない為、コロナウイルス感染リスクが低くなったら活動できる場を広げていきたいと考えています。
	27	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○	日々の送迎時、事業所ラインで子どもの支援中の画像と共にその日の様子や成長、変化等を伝えて共通理解を得ています。
保護者への説明責任等	28	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○	事業所内での相談は対面、電話、事業所ライン等で相談を受けていますが、ペアレント・トレーニング等プログラムについては現時点では完成していません。
	29	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○	主には契約時に伝えています。変更時には適切な説明を心がけています。
	30	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○	事業所ラインや電話、事業所内での相談時間を設けて、悩みや相談に応じています。その時のお子さんの様子に合わせた助言ができるよう心がけています。
	31	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○	コロナまん延の為中止になったものもありますが、親子参加のイベントや保護者会での交流支援に前向きに取り組む考えです。
	32	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○	相談や申し入れに対応できる体制を整えています。周知面では十分な所もある為、今後も工夫していきたいと思っています。
	33	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○	毎月、事業所活動予定表やイベント時には前もってタイムスケジュール表を配布し安心して活動に参加してもらえる体制を工夫しています。今年度より毎月の活動内容をお知らせする便りを配布し事業所の活動や情報を発信しています。
	34	個人情報に十分注意している	○	個人を特定できるような情報を漏らさないよう配慮し、職員周知を徹底しています。
	35	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○	送迎時に直接話をしたり、電話や事業所ラインで子どもの様子について情報を共有し、保護者の不安・悩みを取り除くために配慮をしています。
	36	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○	ハロウィンイベントでは近所の商店街を周り子どもたちにお菓子を渡して頂くなど交流を図っています。現時点では一部の方のみの為、今後は大きく地域に開かれた運営を目指して、子どもたちの安心できる場所(人)を増やす活動に取り組んでいきたいと思っています。

非常時等の対応	37	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		○	職員間では共通認識ができていますが、保護者に対し完全な周知と訓練はできていません。緊急時の対応なので早急に体制を整えていきたいと思います。
	38	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている		○	毎月、様々な状況を仮定して避難訓練を実施しています。
	39	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている		○	事業所内での勉強会や研修を実施しています。
	40	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		○	契約時にお子さんの様子や自宅での対応方法等聞き取り、保護者と一緒に事業所での対応を考えたり説明をした上で契約をしています。また、事業所内では話し合いを設け、活動中にどのような配慮がされているか確認をしながら対応を決定しています。
	41	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○	処置方法や注意する点を把握して対応しています。
	42	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している		○	直ぐに報告書の記入をすることを徹底し、職員全体で対策を改善に向けて実施しています。